

カタリバによる熊本地震復興支援終了のお知らせ

Yahoo! JAPAN ネット基金を通じて熊本地震復興へのご支援をいただいた皆様へ

認定NPO法人カタリバでは、2016年4月に発生した熊本地震被災地である熊本県益城町においてコラボ・スクール「ましき夢創塾」を運営してまいりましたが、2020年3月末日をもち、カタリバからの支援を終了することが決定しました。

ピーク時の2017年5月末には4万7800人（2万255世帯）*が仮設住宅などでの仮住まいを強いられていましたが、昨年2019年4月には14,225人（6,278世帯）*と、3割まで減少しました。

*熊本県発表応急仮設住宅等の入居状況について（令和元年5月31日現在）

まだまだ元の生活をおくることは難しい中でも震災発生直後の緊急支援の時期は脱したと捉え、カタリバの熊本地震復興支援は現地団体への後方支援へと切り替えるため、2019年4月に熊本大学、益城町教育委員会と三者協定を結び、この1年間を事業の移行期間として資金提供と運営の後方サポートを行ってきました。

2020年1月末には、仮設住宅などで暮らす人はピーク時から9割超減の4,393人（1,863世帯）**となり、震災発生から初めて5,000人を切りました。移行期間終了の2020年3月末をもって、カタリバからの支援は終了することとなりました。

それでもましき夢創塾の中には、仮設住宅などで生活をしている生徒が数名いますので、今後は、熊本大学による運営を全力で応援してまいります。

**熊本日日新聞（2020年2月10日）

震災発生から4年、皆さまからの温かいお気持ちとご支援により、多くの子どもたちの心のケア、学習サポートを行うことができました。ありがとうございました。

Yahoo! JAPAN ネット基金を通してのご支援のご報告

- 寄付総額：2,594,302円
- 寄付人数：8,342人
- 継続寄付人数：12人（2020年3月末現在）

上記のご寄付は、カタリバへの直接のご寄付とあわせて「ましき夢創塾」での支援に使わせていただきました。

- 支援した子どもの人数
 - ・ 2015年度（2016年5月～2016年8月）：970人
 - ・ 2016年度（2016年9月～2017年8月）：953人
 - ・ 2017年度（2017年9月～2018年8月）：955人
 - ・ 2018年度（2018年9月～2019年8月）：990人

▪ 支援内容

子どもたちの居場所、日常的な学びの場づくり

- ・ 中学校の教室（放課後）
- ・ 仮設住宅団地集会所（夜間）

地元の大人、地域の大学生、支えてくれる大人とのコミュニケーションを通じて、幾度もの地震や避難生活でたまったストレスをケアする取り組みも行っていました。



新しい「ましき夢創塾」は、これからも未来の創造をめざして続いていきます。

また、カタリバとしては日本全国を対象とした、災害時や災害からの復興に向けた子ども支援を行う「sonaeru事業」も展開しております。

引き続き応援のほど、よろしくお願いいたします。